第１回「市民公開講座」のテレビ放送について

第１回　市民公開講座「医療事故調査 10 年　患者のみかた～あなたにとって納得できる医療とは～」（2026 年 1 月 17 日開催）を編集した番組が放送されました。

放送日変更のお知らせ NHK Eテレ「TVシンポジウム」

医療事故調査10年
～いま求められる医療とは～

2026年7月12日（日） 午後2時30分～午後3時29分 放送

※NHK ONE でも“見逃し配信”されます

一日に医療を受ける人は約845万人。
短時間診療、医療人材不足など医療をめぐる状況は
不確実性を増し、今後**「医療の質と安全」**が維持できるのか、
大きな課題になっている。
2015年施行の**「医療事故調査制度」**は10年が経過。
治療や検査の過程で予期せず亡くなる医療事故は、
これまでに3800 件以上が報告された。
事故の要因のひとつが
医療者と患者のコミュニケーションの課題
医療が高度化・複雑化していくなか患者の安全と安心を
どう守っていけばよいのか、群馬大学で行われている
「カルテ共有」
「共同意思決定 シェアード・ディシジョンメイキング」の取り組みや、
医療事故で息子を失った豊田郁子さんの「医療対話推進者」の活動を通して、
いま求められる医療の姿を考えていく。

【出演者】
田中 和美 氏（群馬大学医学部 医療の質・安全学分野教授）
豊田 郁子 氏（医療事故当事者・イムスリハビリテーションセンター 東京葛飾病院 医療対話推進者）
木村 壯介 氏（一般社団法人 日本医療安全調査機構 常務理事）

【司会】
三宅 民夫 氏（元NHKエグゼクティブアナウンサー・立命館大学 衣笠総合研究機構 客員研究員）

この番組は市民公開講座「医療事故調査制度施行10年　患者のみかた～あなたにとって納得できる医療とは～」（2026年1月17日配信）を編集したものです

制作：NHKエンタープライズ